

森のわんぱくキャンプ



◆事業目的

- ①他学年との交流の中で協力の大切さを感じてもらう
- ②電化製品に囲まれる生活の中で火の重要性、危険性を感じてもらう

◆参加者数：19名

◆1日目、新緑のまぶしい広場で仲間づくりゲームを行いました。最初は緊張している子もいましたが、緊張をほぐすゲームをすることで朗らかな笑顔を見ることができました。それから、金属をこすり合わせて火を起こす『メタルマッチ』や、木と木をこすり合わせて火種を作る『ひも切り式火起こし』にチャレンジです。なかなか火が起きず悔し涙を流す子もいました。1日の最後はキャンプファイヤー！みんなで火を囲み、歌ったり踊ったり、日常では味わえない体験に子どもたちは目を輝かせていました。

2日目は、班のメンバー全員で『ひもぎり式火起こし』に再チャレンジ！1日目は種火を起こすことができない班もありましたが、あきらめずに何度も挑戦し、なんと全班が火を起こすことに成功！そのあと味噌汁を作って、「自分たちでつけた火で作る料理は格別美味しい！」と喜ぶ声がありました。1泊2日の短い期間にも子どもたちの成長が見られるステキなキャンプになりました。（文責：井上）

担当スタッフ：さほ、べる、タップ、う～ま、みよっしー、おすみ、とうちゃん